

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども発達支援ルーム ビッピーノ (児童発達支援)	公表日	2026年 1月 28日
------	---------------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションで活動スペースを区切っている。 個別活動室が設けられている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別に対応できるだけの職員が配置されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		絵カードなどで視覚的な掲示をしたり、個々の特性に応じて配慮したりしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもの手の触れるところは毎日消毒している。換気をしている。 プレイルームが広々と使える。 破損していたロッカーとテーブルを新しくした。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンが必要な場合は、落ち着ける場所を提供している。 個別室がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今年度も継続して参観日を実施することができた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日報内で意見を書き込めるようになっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月の対面研修、Eラーニングを実施している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			フォーマルアセスメントの活用を増やしていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもを担当する職員が支援計画の作成に参画している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って支援が行われているか担当職員が毎月評価を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなアセスメントは必要に応じて行っている。支援後には行動記録を残し、日々分析等を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		発達段階に応じた活動を話し合って決めている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		遊びが発展していけるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		こどもの状況に合わせてクラス変更の提案を行ったり、クラス内で個別活動や集団活動を取り入れたりするなど工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		事前に打ち合わせを行い、こどもの動きなど様々な想定を行い、連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その都度支援の振り返りを行い、意見交換し、次につなげるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録時に話し合いもを行い、次につなげるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		1ヶ月ごとに振り返ることにより指導計画の見直しにつなげている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		可能な限り担当職員が参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			個別的に関係機関と連携は取っているが、日頃から連携を取れるよう整備していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて保育所・幼稚園等と支援内容について情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		要望に応じて情報提供を行っている。	学校との連携ができていく現状があるので、改善につなげていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		利用者の大半が併行利用のため実施していない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			HUGを活用し、その日の様子や発達の状況について共有するようにしている。 お迎えがある場合は、直接伝えている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレント・トレーニングを実施した。 研修や茶話会などを設けることができなかったため、次年度は積極的に実施していきたい。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時の際に説明している。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			定期的な面談が十分に実施できていないので、改善に努める。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		ペアレント・トレーニング実施時には保護者同士で交流することができた。	より多くの保護者が交流できる機会を作りたい。きょうだい児も参加できるイベントなども検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		HUGやLINEで相談できるような体制を整えている。相談があった場合は迅速に対応するよう心掛けている。	相談体制について再周知していく。また相談に応じられる職員を増やす。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSで活動概要などを発信している。LINEを活用して、利用者全体へ様々な連絡を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		HUGへの写真掲載に関して同意を取り、意向に沿って掲載している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民と交流する機会は作れていないが、施設外での活動の際には、地域住民の方への挨拶や交流を図っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		研修や訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時に必要な情報は確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に確認している。現在、該当児童はいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全対策委員会です定期的に話し合いをし、支援に活かすようにしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		送迎利用のみの場合は、保育園・幼稚園と怪我や体調不良時の連絡体制について連携を行っている。	連携内容を再整理し、家族等へも周知していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット報告書を作成し、再発防止に向けて職員間で話し合っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		対面研修を実施するほか、Eラーニング研修も実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明している。現在、支援計画に記載が必要となる子どもはいない。		